

■2009年7月中国・九州北部豪雨災害、防府市山口市調査速報■ (須見)

今年も、梅雨末期の豪雨に伴う水害・土砂災害により多くの被害が発生した。中国・九州北部豪雨と命名された豪雨により、山口県では17名の死者が出た。特に7月21日に防府市で多発した土砂災害により、特別養護老人ホームの入居者7名が亡くなるとともに、3箇所の災害現場で7名の人命が失われた。災害後、マスコミ等では、老人ホームに対する情報提供はどうだったのか、土砂災害警戒区域への災害弱者施設の立地はどうだったのか、避難勧告をもっと早く出すべきだったのではないかなど様々な問題提起がなされている。

CIDIRでは災害情報の問題を検討する前提として、まず現地の状況を把握することを目的に、7月30、31日に防府市と隣接する山口市の現地調査を東洋大学の関谷講師と共同で実施したのでその結果を報告する。調査班は、まず国土交通省山口河川国道事務所に立ち寄り田辺副所長から被災状況のブリーフィングを受け図面を頂いた。また、山口市災害対策本部では、お忙しい中、防災危機監理課長からお話を聞くことができた。この場をお借りしてお礼を申し上げる次第である。

○防府市真尾地区（大歳神社付近）

図面を頼り、最初に訪れたのは真尾地区（大歳神社付近）の山崩れの現場である。ここでは、2名の方が土砂に埋もれて亡くなっている。山腹が崩れ、巨礫を含む大量の土砂が集落を襲った。軒下まで家が埋まり、流出した砂により田圃が砂原のようになっていた。



- ・山崩れにより発生した巨礫や土砂が道路際まで流れてきている。



- ・沢から流れてきた土砂で家が軒下まで埋まっている。



- 道路際に堆積している巨礫。
水路の浚渫のために取り除いたもの。

○防府市真尾地区（特別養護老人ホーム ライフケア高砂）

7人の犠牲者を出したライフケア高砂の現場である。老人ホームの裏手の沢から流れ出した土石流により、一階部分に厚く土砂が堆積していた。調査班が訪れた際には、消防、警察等による救助活動もすでに終わっており、誰もいない施設でNHKの取材チームだけがカメラを回していた。



- ライフケア高砂、正面玄関。
災害直後は、溪流の水が館内を流れ、
正面玄関が川のようにになっていた。



- ライフケア高砂内部
山側の廊下付近
天井近くまで砂が堆積している。



- ・ライフケア高砂の山側
土石流が運んだ砂礫で覆われている。
↓自動車も流され建物に侵入した。



- ・施設の山側に建設中の農免道路の
ボックスカルバート（下流側）
- ・土砂や流木により、上流で完全に埋塞
している。
- ・土石流は、このボックスカルバートの
左側で、農免道路を越流している。



- ・ボックスカルバートの左側、土石流が
道路を越流し、川となっている。
- ・上流の溪流には、流されてきた巨礫が
点在している。



←ゴミ集積場
泥だらけの
車いすが痛々しい。



○防府市下右田地区（国道 262 号沿い）

国道 262 号沿いでは 4 名の方が亡くなっている。調査当日、国道は峠に入る入り口から交通規制がかかっていたため、徒歩で峠のトンネル口まで遡行した。平野部に近いところでも、国道を流れてきた砂が堆積し、側溝が完全に埋まっていた。国道の通る谷筋を上に行くに従い、至る所で斜面が崩壊し、流入した土砂で、路面が埋まった跡が残されていた。トンネル手前の沢からは、土石流に伴う大量の土砂が流出しており、道路を潜るボックスカルバートが埋塞している箇所もあった。



- ・ 峠の入り口付近での歩道の状況
土石流による砂泥混じりの濁流が国道上を平野部まで流れ、路面や舗道上に砂を堆積させた。
- ・ 国道の最下端に近い部分でも 10cm 近い砂の堆積が見られた。
- ・ 国道上を流下する間に分級が進みこのあたりではかなり細かい砂となっている。



- ・ 国道敷は、ほぼ清掃が終わっている。
- ・ この現場は、調査日前日に、麻生総理が視察した。



- ・ 裏山が崩れ、国道まで押し出された倉庫。
- ・ この家の前では、国道を流れる濁流に流された婦人が、街路樹につかまり、何とか救助されたという。



- 道路脇の崩壊斜面。



- 土石流が流下した溪流
砂防ダムが完全に満砂し、土石流が流下している。
- 河川を乗り越え、対岸の民家を直撃した。



- 直撃された民家の跡
写真中、右側が河川～溪流
左側が国道



- 臨時給水所
ポストも休み→





- 土砂により閉塞した上勝坂橋
この上流で土石流が発生した。



- 土砂に埋まった住宅と車庫。
(上勝坂橋上流)



- 土砂に埋まった住宅。

上勝坂橋上流の溪流。
土石流が流下した。



○防府市大崎（玉泉湖付近）

一級河川須川の上流の溪流で、農業用の溜池である玉泉湖とその上流の溜池の二つの溜池がある。土石流は、玉泉湖に流入する複数の溪流で生じ、玉泉湖上流端付近にある新幹線の橋梁にも土石流の影響が及んだ。上流の溜池は、流入した土砂で完全に埋まっていた。



- 玉泉湖畔の砂防ダム
満砂し土石流が越流している



- 玉泉湖に流入した土砂



- 新幹線橋梁を襲った土石流の跡
線路側壁に泥が付着している。



- 玉泉湖上流の溪流。
土石流でがさがさになっている。



- 玉泉湖上流の溜池
土砂で完全に埋没

○防府市上右田（三谷川）

上流が森林公園になっている溪流で土石流が発生した。



- 溪流の状況

至る所で山腹斜面が崩落



○防府市奈美（十七谷川）

土石流により 1 人の方が亡くなった。山から流出した土石流は、大量の土砂を流出させ、田畑や人家を砂で埋めた。砂の到達している範囲は概ね、溪流が形成した扇状地の範囲に収まっているように思えた。



- ・砂の堆積の末端
ここから先は水田が続いている。



- ・砂に埋もれた民家の庭



- ・畑も埋まった



十七谷川の標識

○防府市・佐波川流域災害ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、市内の天神通り商店街に、ボランティア受付、待機場所を設置していた。ボランティアセンターの本部は市の文化福祉会館で、8月1日からは、受付もそちらに移動するとのことであった。ボランティアの募集は山口県内を原則としているそうである。夏休みと言うこともあって、高校生も数多くボランティアに参加していた。



ボランティアセンター受付。

項目	日付	7/23	24	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2	3	4	5	計
ニーズ	累計	34	11	11	10	11	15	26	27							
受付数	累計		45	56	66	77	92	118	145							
ボランティア	個人	-	15	7	16	9	123	47	132							
	団体	(1)	38	10	57	84	147	33	101							
受付数	累計	-	53	17	73	144	270	80	233							
	累計		53	90	143	227	557	637	870							
電話	累計	72	81	103	90	148	86	74	115							
	相談		153	256	346	434	540	617	722							
ボランティア	累計	50	56	79	74	84	46	56	69							
	関連		106	185	259	343	389	445	512							
支援物資	累計	18	15	7	5	8	0	4	3							
	関連		33	40	45	53	53	57	60							
その他	累計	4	10	17	11	16	40	13	16							
	累計		14	31	42	58	98	111	127							

・本部にて。
降雨が一段落してから、ニーズ受付が増えているようだ。

○山口市下小鯖（検畑地区：うつぎばた）

主要地方道山口徳地線の土砂崩れによる通行不能で孤立した集落。山口インター方面から集落に入る道が何箇所かで崩壊していた。また、徳地方面に向けても土石流等で通行不能であった。



- 道路から望む崩落斜面。
このような崩落箇所が何箇所かで見受けられた。



- 表層から基盤付近までが一気に流出している。
- 基盤は花崗岩。



- 検畑集落内の河川
砂で埋まっていた。

山腹崩壊地付近の民家 →
危険を示す赤札が貼ってあった



○山口市下小鯖（下小鯖 11 区；柊地区）

山口インター付近の集落。溪流上流での山腹崩壊により土石流が発生した。巨礫は集落の手前で概ね止まっていたが、土砂が集落内に厚く堆積した。21日14時15分に、山口市は、当地区に対して避難指示を出している。関谷先生が住民から聞いた話では、「集落の住民は事前に避難していたため土石流による被害者は出なかった」、とのこと。この事前避難と山口市の避難指示との前後関係については、まだ調べ切れていない。



・削られた山肌。



・溪流を流れ下った土石流のあと。



・土砂は、民家の一階の軒下まで達していた。